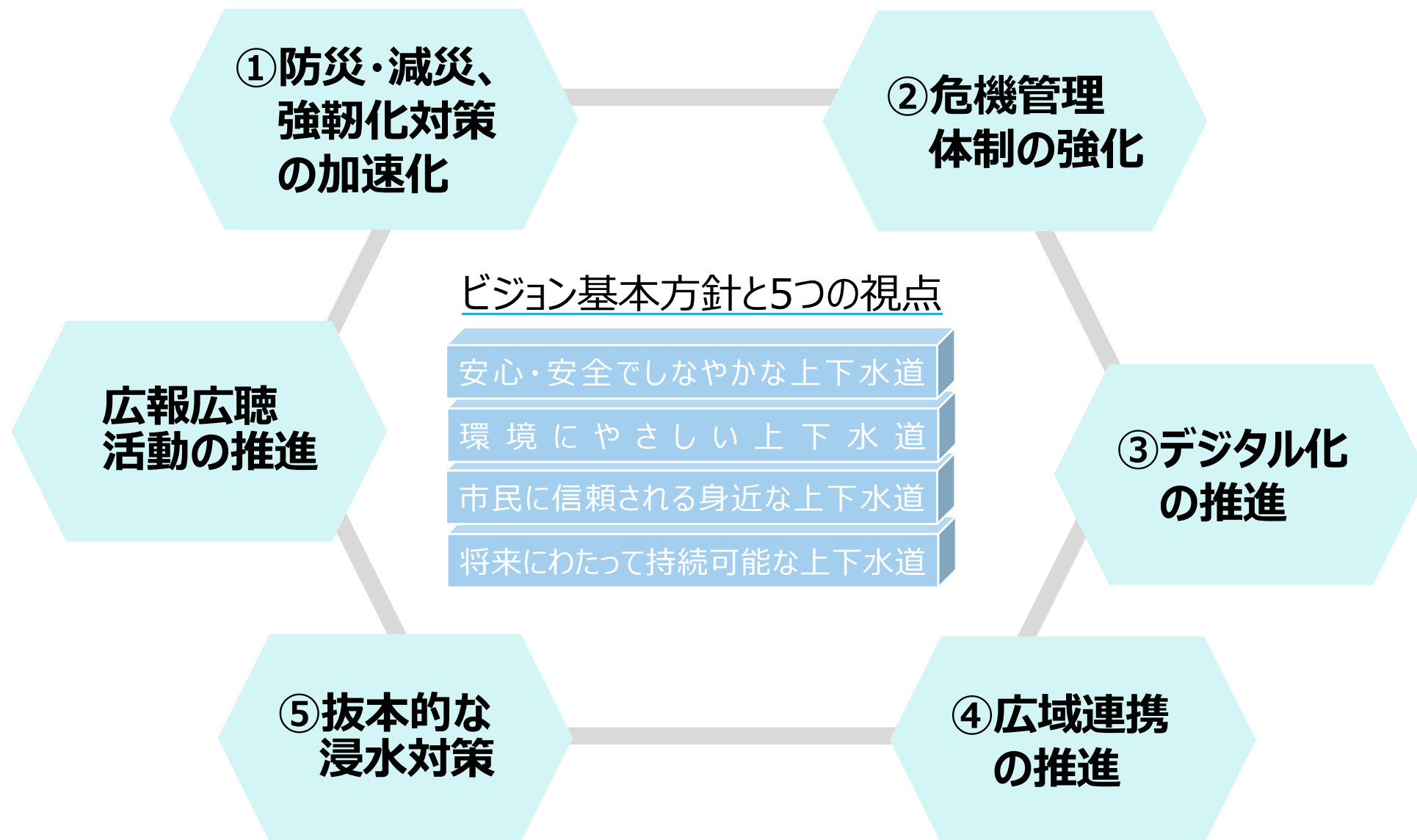


福山市上下水道事業 中長期ビジョン（経営戦略） 後期実施計画の進捗状況について -2024年度（令和6年度）の取組状況-

2025年（令和7年）10月8日



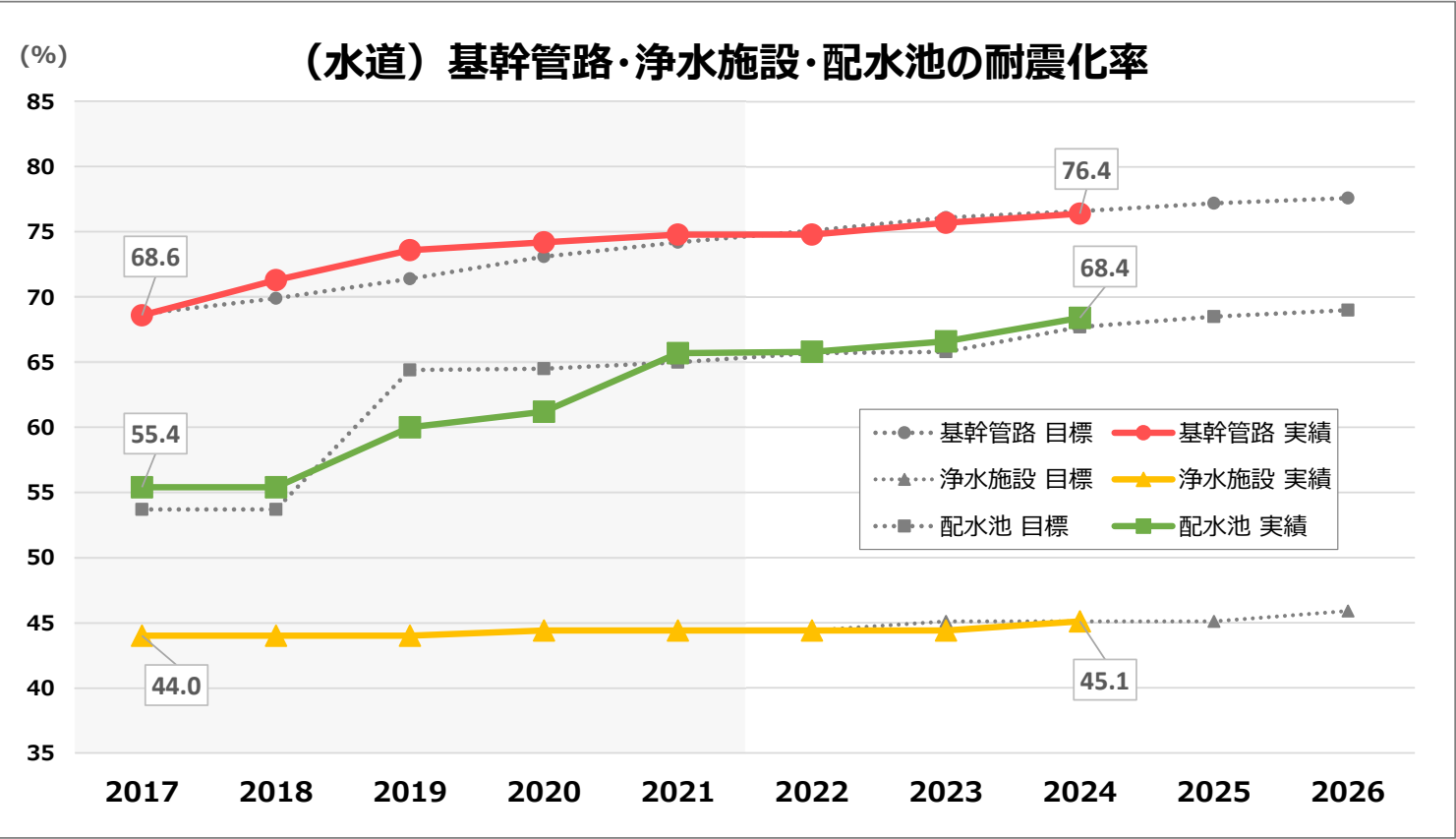
2024年度（令和6年度）の取組状況

【主要指標の達成状況】

水道事業・工業用水道事業

会計区分	主要指標		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	判断の基準
水道事業	I - 1 料金回収率	目標	100%以上	100%以上	100%以上	100%以上	100%以上	高い方が良い
		実績	104.7%	106.6%	104.7%	達成 -	-	
	I - 2 基幹管路の耐震化率	目標	75.1%	76.1%	76.6%	77.2%	77.6%	高い方が良い
		実績	74.8%	75.7%	76.4%	未達成 -	-	
	I - 3 浄水施設の耐震化率	目標	44.4%	45.1%	45.1%	45.1%	45.9%	高い方が良い
		実績	44.4%	44.4%	45.1%	達成 -	-	
	I - 4 配水池の耐震化率	目標	65.7%	65.8%	67.7%	68.5%	69.0%	高い方が良い
		実績	65.8%	66.6%	68.4%	達成 -	-	
	I - 5 有収率	目標	95.4%	95.6%	95.7%	95.9%	96.0%	高い方が良い
		実績	94.9%	94.4%	95.2%	未達成 -	-	
	I - 6 給水人口一人当たり企業債現在高	目標	7.5万円	7.3万円	7.2万円	7.1万円	6.9万円	低い方が良い
		実績	7.4万円	7.3万円	7.2万円	達成 -	-	
工業用水道事業	II - 1 料金回収率	目標	100%以上	100%以上	100%以上	100%以上	100%以上	高い方が良い
		実績	115.5%	120.8%	119.6%	達成 -	-	

水道事業（グラフ） ※網掛け部分は前期実施計画の期間



基幹管路の耐震化率
…基幹管路の延長に対する耐震管の延長の割合を示すもので、地震災害に対する基幹管路の信頼性・安全性を表す指標
【基幹管路のうち耐震管延長 ÷ 基幹管路延長】

配水池の耐震化率
…全配水池容量に対する耐震対策の施された配水池の容量の割合を示すもので、地震災害に対する配水池の信頼性・安全性を表す指標
【耐震対策の施された配水池有効容量 ÷ 配水池等容量】

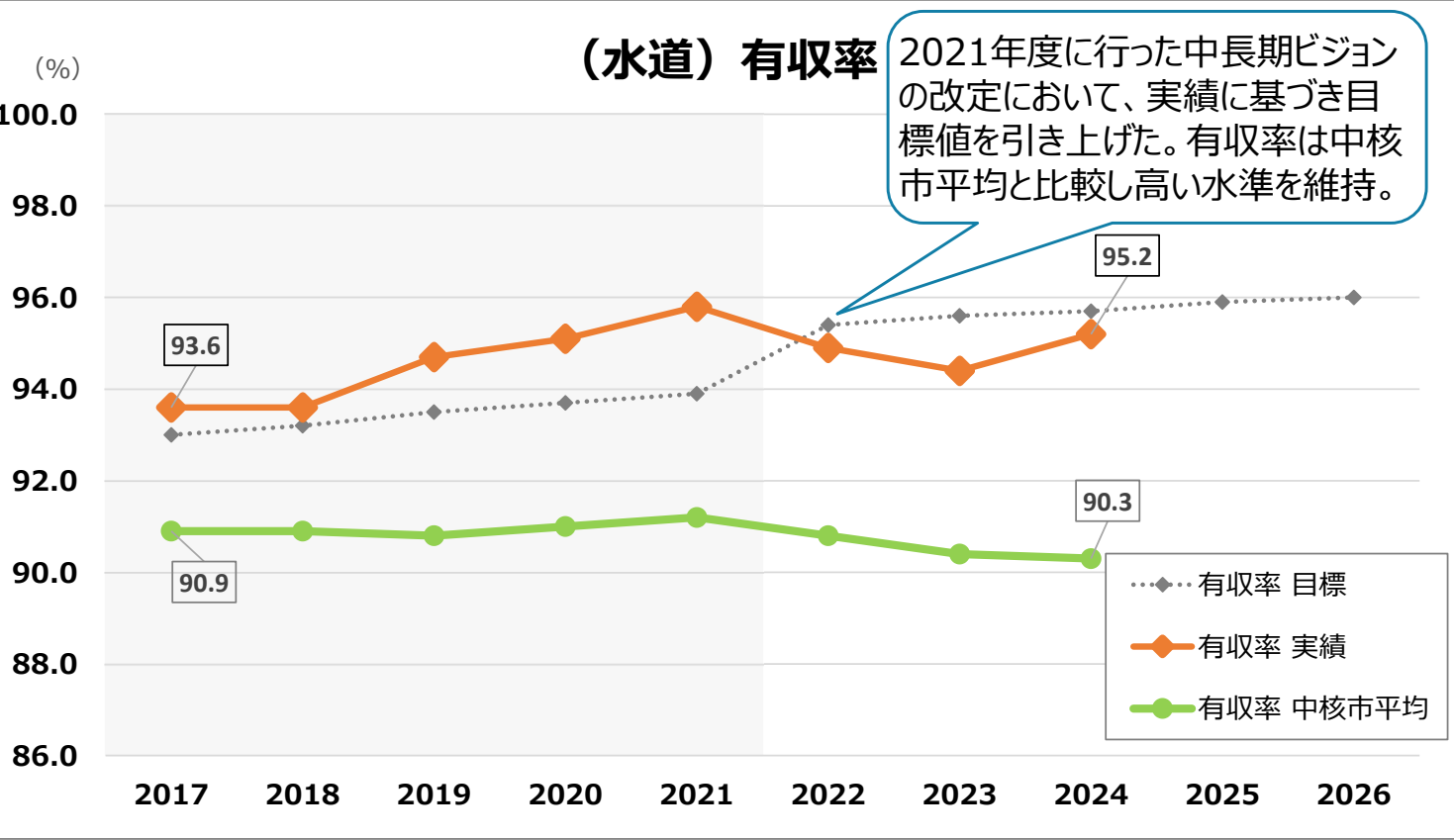
浄水施設の耐震化率
…全浄水施設能力に対する耐震対策が施されている浄水施設能力の割合を示すもので、地震災害に対する浄水処理機能の信頼性・安全性を表す指標
【耐震対策の施された浄水施設能力 ÷ 全浄水施設能力】

未達成の理由
基幹管路の耐震化率…計画では使用を取りやめる予定としていた管路を、引き続き使用することとしたため、その路線の延長が、耐震化率算出の際に分母となる基幹管路の総延長に引き続き計上されたことによる。

2024年度（令和6年度）の取組状況

【主要指標の達成状況】

水道事業（グラフ） ※網掛け部分は前期実施計画の期間



有収率
…年間配水量に対する年間有収水量の割合を示すもので、水道施設を通して供給される水量が、どの程度収益につながっているかを表す指標
【年間総有収水量
÷年間総配水量】

中核市平均値
… 2022年度 90.8%
2023年度 90.4%
2024年度 90.3%

前年度との比較

有収率…2024年度は前年度の大規模漏水が改善。ビジョン策定時(2017年度)と比較し有収率は+1.6%向上している。

2024年度（令和6年度）の取組状況

【主要指標の達成状況】

下水道事業

会計 区分	主要指標		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	判断の基準
下水道 事業	Ⅲ-1 公共下水道人口普及率	目標	76.0%	76.4%	76.8%	77.1%	77.4%	高い方が良い
		実績	76.3%	76.3%	76.9%	達成 -	-	
	Ⅲ-2 水洗化率	目標	95.2%	95.4%	95.6%	95.7%	95.8%	高い方が良い
		実績	95.5%	95.7%	95.8%	達成 -	-	
	Ⅲ-3 都市浸水対策達成率	目標	55.3%	55.3%	55.3%	57.9%	57.9%	高い方が良い
		実績	55.3%	55.3%	55.3%	達成 -	-	
	Ⅲ-4 経費回収率	目標	100%以上	100%以上	100%以上	100%以上	100%以上	高い方が良い
		実績	112.8%	115.9%	113.7%	達成 -	-	
	Ⅲ-5 重要幹線等の耐震化率	目標	49.9%	51.2%	51.9%	52.1%	52.4%	高い方が良い
		実績	49.8%	50.5%	52.0%	達成 -	-	
	Ⅲ-6 処理区域内人口一人当たり企業債現在高	目標	22.3万円	22.6万円	23.1万円	23.8万円	24.1万円	低い方が良い
		実績	21.7万円	21.9万円	22.0万円	達成 -	-	

2024年度（令和6年度）の取組状況

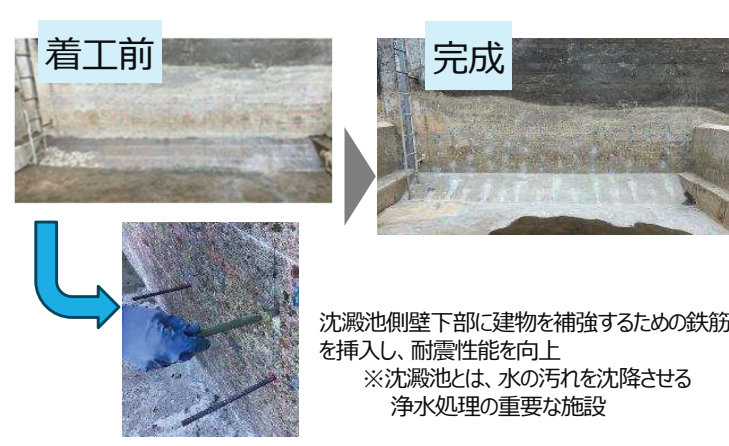
①防災・減災、強靱化対策の加速化

主な取組

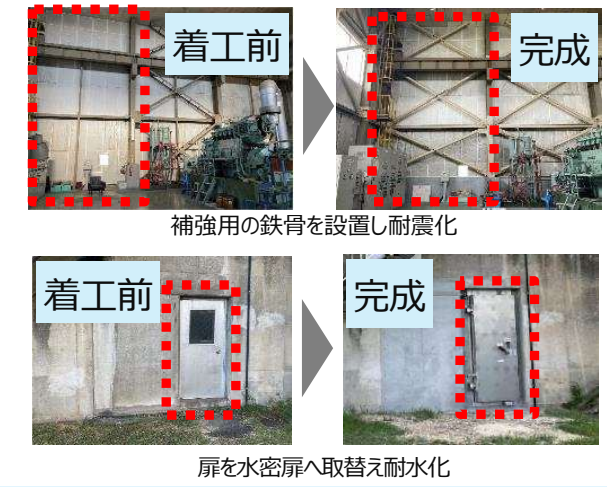
幕山第2配水池耐震補強及び法面崩壊対策工事



中津原浄水場工水2系南沈澱池機械設備取替工事



大津野ポンプ場耐震・耐水化工事

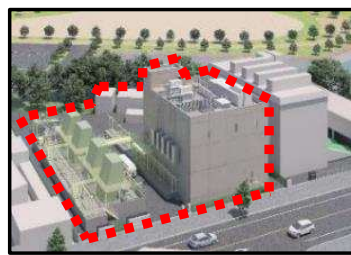


新浜ポンプ場改築事業（DBO方式）

2029年度末完成予定

- ・整備から60年以上経過
- ・2022年度～ポンプ場全面建て替え工事中

DBO方式(Design-Build-Operate)
設計、建設、維持管理・運営を一括発注、一括契約する方式。
資金調達は公共が行う。



▲新浜ポンプ場(イメージ図)

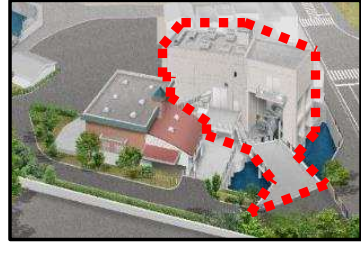


▲基礎杭施工状況

一ツ樋ポンプ場整備

2027年度末完成予定

- ・1995年一部供用開始
- ・2022年度～増設工事中
- ・排水能力は既設の約1.6倍増強



▲一ツ樋ポンプ場(イメージ図)



▲建築工事施工状況

資機材の確保

・仮設水槽を11基購入

※整備計画

容量1m³を40基（2025年度まで）

⇒避難所などに設置し、給水拠点として活用

⇒上下水道局保有数：合計30基



・災害用スマートフォンを10台整備

事故・災害等が発生時、迅速に復旧が可能となる体制を確立

⇒現場の状況をリアルタイム共有が可能

⇒災害対応用の通信手段の確保

訓練の実施

・風水害訓練（5月）

本部設営、情報伝達など



・総合防災訓練（11月）

・職員参集、本部設営、
受援ワークショップ



・地域と連携した訓練（樹徳、南学区）



他事業体との連携

・協定締結団体

・協定締結団体と防災訓練の実施



・日本水道協会広島県支部

合同防災訓練（広島市）に参加



・備後圏域の事業体

・備蓄資機材の情報共有
・施設見学（三原市）



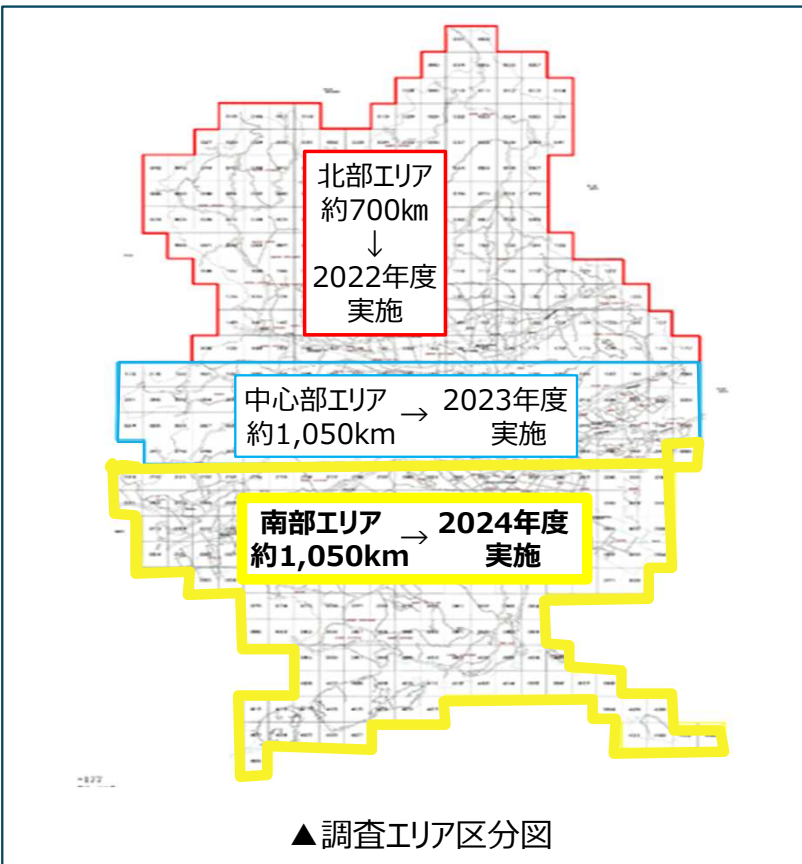
2024年度（令和6年度）の取組状況

③デジタル化の推進

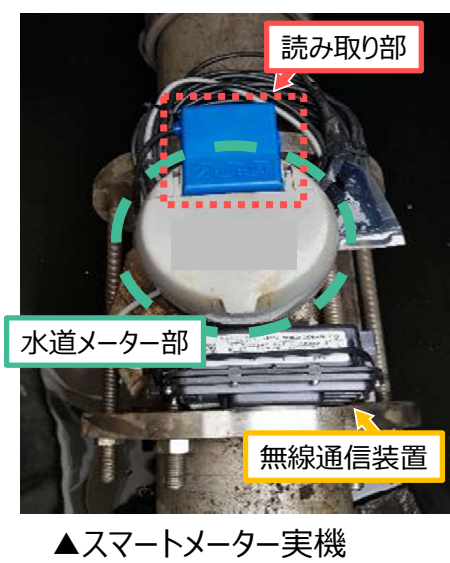
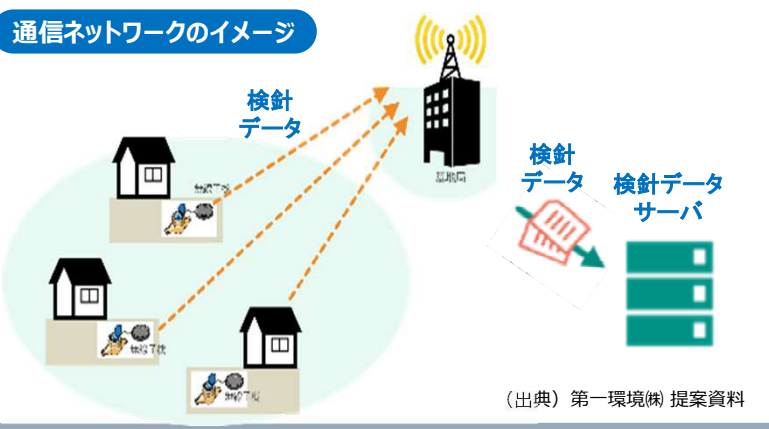
主な取組

【AIを活用した水道管路の劣化予測診断】

- ・市内を3エリアに分け、**2022年度～2024年度** 3年計画で実施（総延長約2,800km）



【水道スマートメーターによる自動検針の実証実験】



【水道配管図・下水道台帳等閲覧の電子化】

- ・福山市地図情報総合サイト「ふくやまっぷ」へ掲載
- ：水道配管図
- ：下水道管路図（事業計画区域等）

下水道管路図画面▶



2024年度（令和6年度）の取組状況

④広域連携の推進

水道

「広島県水道広域連携推進方針」における「統合以外の連携」として、**研修の共同実施、情報交換会**等を実施



下水道

「広島県下水道事業広域化・共同化計画」に基づき、施設の**広域化等について検討**
※検討事項：松永浄化センター（市）を
芦田川浄化センター（県）に統合



（出典）広島県下水道事業広域化・共同化計画（2021年3月 広島県）

備後圏域

2024年度 実証プラント完成

【下水道革新的技術実証事業（B-DASHプロジェクト）】 ・リン吸着バイオ炭によるリン回収及び炭素貯留技術実証事業



三都市（広島市・呉市・福山市）

【事務情報交換会・技術情報交換会】

それぞれの事業体が抱える課題を共有し、
解決策を考えることを目的として開催

事務：開催地 呉市、開催日 8/9

技術：開催地 呉市、開催日 1/24

【緊急時連絡管の整備】

2025年度 運用開始予定

- ・福山市ー井原市、福山市ー笠岡市
- ・隣接する市町間で配水管を接続し、有事の際に、相互に
応援配水を可能とする
- ・緊急時のライフラインの強化



2024年度（令和6年度）の取組状況

⑤抜本的な浸水対策

内水排除対策施設整備

**2025年6月
蔵王雨水幹線
暫定貯留開始**

雨水幹線の暫定利用を開始
貯留量は約15,000m³、東深津町の
貯留量約8,000m³を加えると
これまでの約3倍

**蔵王雨水幹線
管径3,000mm施工状況**



**蔵王ポンプ場(イメージ図)
2027年度末完成予定**



雨水ポンプ場整備



▲千田ポンプ場(イメージ図)



▲建築工事施工状況



▲森脇ポンプ場(イメージ図)



▲芦田川堤防部放流渠完成(2025年6月)

雨水幹線・枝線の整備（大津野1号雨水枝線）

2025年度末完成予定

流下能力を向上するため、
既設水路を暗渠化し、
水路断面を拡幅

